

1. 理事会からのお知らせ

(1) 代表理事挨拶

フェローの皆様および関係者の方々におかれましては平素から TCER の活動に多大なるご支援とご協力を賜り、感謝申し上げます。代表理事となつてはや2年近くが経ち、間もなく任期を満了いたします。代表理事としての役割をどこまで十分に果たせたか全く自信がありませんが、本年度も TCER の活動は例年通り順調に行われました。最近の TCER の事業につきまして近況をいくつかご報告いたします。

まず、NBER、CPER、TCER が共同で開催してきた TRIO コンファレンスにつきましては、「コーポレート・ガバナンス」をテーマとしたコンファレンスの成果が *Journal of the Japanese and International Economics (JJIE)* の特集号として今年の3月号として刊行されました。来年度は7月末に「経済のグローバル化と保護主義」をテーマにこの分野のトップクラスの研究者を招いて開催する予定です。

また、ERIA (東アジア・アセアン経済研究センター) の委託を受けた TCER=ERIA 出版事業では、生産工程・タスク単位の国際分業を生かした新たな開発戦略を实践するアセアン・東アジアの現状を最新の理論動向を踏まえながら分析した成果を、昨年と今年各1冊出版したのに引き続き、来年度は、3冊目(第1巻「ASEAN 経済共同体に向けて: 経済統合の現状」)と4冊目(第2巻「アジア総合開発計画: 物的インフラ整備」)が頸草書房により出版される見通しとなっております。

さらに今年3月9日と10日には、TCER ジュニア・ワークショップの一環として、第2回金融ジュニア・ワークショップと第1回産業組織ジュニア・ワークショップが東京大学で開催されました。本事業は、大学院生および若手教員・研究員に研究内容を報告してもらい、それにシニアの教員がコメントを行う形式のワークショップです。若手研究者のなかには、潜在的には重要な着想を持ちながらも、それを国際学術誌に刊行可能な形で研究論文としてまとめ上げるのに苦勞する人は少なくないと思います。そのような若手研究者にシニアの研究者が建設的なコメントやアドバイスをすることを通じて、日本の将来を担う若手研究者を育成することを目指しました。

世界経済は、実体経済こそ好調を持続しているものの、米国や欧州における超金融緩和からの「出口」を控え、株式市場ではむしろ不確実性が深まっています。日本経済も、足元では景気が上向きにあるものの、中長期的には少子高齢化の進展や財政赤字の累積など多くの政策課題を抱え、多くの人々はそれを必ずしも「実感」できていません。今後も TCER は、このような世界経済の情勢や日本経済が直面する諸課題について検討すべく、最新の研究成果について議論を深め、必要な知見の蓄積に貢献することを目指して活動してまいりたいと考えております。引き続き TCER の活動にご協力賜りますようお願い申し上げます。

福田慎一 (代表理事・東京大学)

(2) 2017年度後半の理事会報告

2017年11月に18名の新規フェローの入会について代表理事より提案があり、理事全員の同意と監事全員の確認を得て、11月17日(金)、書面による理事会の決議がなされ、全員の入会が承認されました。

2017年度第2回理事会は、2018年2月7日(水)10時00分～11時30分、飯田橋のTCER事務所において開催されました。平成30年度の事業計画書及び平成30年度の予算書が承認されました。寄附者が用途を特定していない寄附金について、公益目的事業に要する経費に充てる割合、平成30年度投資方針書および平成29年度の特定資産の取得についても承認されました。また、3名の新規フェローの入会と1名の資格喪失も承認されました。TCERワーキング・ペーパーのSSRN接続の廃止の件について、2018年度は継続、2019年度より廃止とし、SSRN接続を廃止してもRePEcとは引き続き接続することが承認されました。評議員選定委員会を招集すること、評議員候補者を推薦して評議員選定委員を選任することが承認されました。報告事項として、本年度の事業の執行状況について説明がありました。

(3) 2017年度後半の評議員会報告

2017年度第2回評議員会は、2018年3月5日(月)11時00分～12時00分、日本工業倶楽部で開催されました。平成30年度の事業計画書及び平成30年度の予算書が承認されました。

(4) 所属先変更のご連絡のお願い

今年度中に所属先が変更になった方、新年度から変更になる方は、お手数をおかけしますが、TCER事務局(tcer@mbs.sphere.ne.jp)までご連絡下さい。また、メールアドレスの変更を希望なさるフェローも同様に事務局までご連絡ください。

必要事項は、氏名(フリガナ)、所属先、所属先住所(郵便番号)、電話番号、メールアドレスとなります。

(5) TCERワーキングペーパーシリーズのSSRNへの接続の廃止のお知らせ

ご案内の通り、TCERのワーキング・ペーパーはこれまでSSRN(Social Science Research Network)との接続を行ってきました。しかしながら、このたび費用対効果(年会費が非常に高額になってしまったこと)や無料のシステムであるRePEc Archivesとの接続が完了したことなどをもちまして、1年後(2019年3月末まで)を目途にSSRNとの接続を廃止する予定です。すでにSSRN掲載済みの論文の取り扱いなどの詳細につきましては、後日お知らせいたします。フェローの皆様にはご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解を賜れば幸甚です。

(6) 2018年度研究助成のお知らせ(フェロー以外も応募可能)

TCERでは、毎年、個人研究助成を行っています。日本国内の経済学研究者であれば、TCERフェローに限らずどなたでも応募することができます。(http://tcer.or.jp/)

本制度設立の趣旨：本研究助成制度は、TCERフェローを含む若手研究者の個人及び相互による経済学に関わる理論・実証面での萌芽的研究を支援することを目的としています。

応募資格：日本国内の大学および研究機関に所属する経済学研究者。ただし、同一テーマで過去3年以内に助成を受けた方(共同研究者である場合も含む)は応募できません。

助成対象期間：2018年4月～2019年3月

報告義務：2019年3月末までに所定の様式に従って研究成果報告書を提出するとともに、研究成果を東京経済研究センターワーキング・ペーパーとしてまとめます。これはRePEcやSSRNのTCERリサーチペーパーシリーズにも入ることになります(なお研究成果の提出は2020年3月末まで延長できます)。

助成金額：1件当たり最高40万円

応募締め切り：2018年5月1日(火)午前9時

応募用紙：応募用紙(http://tcer.or.jp/)からダウンロード可)を入力し、Wordファイルをメールに添付して提出

応募先：TCER事務局Eメールアドレス(tcer@mbs.sphere.ne.jp)

(7) 2018年度TCER=TIFOフェローシップのお知らせ(フェロー以外も応募可能)

TCERでは、TCER=TIFOフェローシップ事業を実施致します。TCERフェローに限らず、経済学研究者であればどなたでも応募することができます。(http://tcer.or.jp/)

本制度設立の趣旨：本制度は、東南アジアに本拠を置く経済学研究者と日本の経済学研究者との間での、日本を含めた経済問題に関する共同研究を促進することを目的とし、公益財団法人東芝国際交流財団からの助成を受けて、東南アジアに本拠を置く経済学研究者を一定期間、日本に呼び寄せて共同研究を行う資金を提供するものです。

<<再募集につき、応募条件・資格を緩和しました。>>

応募資格、報告義務、応募用紙、応募先：TCERウェブサイト(http://tcer.or.jp/)でご確認ください。

助成対象期間：2018年4月～2019年3月

助成金額：総額100万円(1件あたり最高100万円)

応募締め切り：2018年3月30日(金)午前9時

2. コンファレンスご案内・報告

公1 国際的学術研究・交流事業

(1) TCER コンファレンス事業 (環境経済学のフロンティア)

2016年度より開始した「環境経済学のフロンティア」共同研究の成果が2017年9月に『環境経済学のフロンティア』として日本評論社より公刊されました。今後、電子書籍化される予定です。

公2 学術研究交流促進事業

(1) TCER コンファレンス (EBPMの経済学：エビデンスに基づく政策立案の展望)

2017年度のTCER コンファレンスは、「EBPMの経済学：エビデンスに基づく政策立案の展望」と題して、共同研究を2カ年に亘り実施をしています。第1回目の会合を2018年1月23日に東京大学本郷キャンパスにて開催しました。教育・労働・医療介護・電力・交通・社会資本等の行政分野におけるEBPMの活用について、研究者からの発表と、各所管官庁における政策担当者によるコメントで構成されました。2018年度に第2回目のワークショップを開催する予定です。

(2) ミクロ経済分析事業 (2017年度 DC コンファレンスとの共同開催) 報告

第23回DCコンファレンスは、2017年9月8日(金)に青山学院大学青山キャンパスにて行われました。コンファレンスの内容については、12本の投稿論文報告と招待講演によって構成されました。投稿論文の報告は、(1)10時00分から11時40分、(2)13時00分から14時40分、(3)15時00分から16時40分、の3つの時間帯に分かれ、並行して二つのセッションが行われました。招待講演は、中島大輔氏(小樽商科大学)による限定的な合理性のもとでの意思決定に関する研究報告が17時00分から18時00分まで行われました。参加者数は約40名で、どの報告に対しても活発な議論が繰り広げられ、大変有意義なコンファレンスとなりました。なお、プログラムおよびプログラム委員は以下の通りです。

セッション 1-a:

10:00--10:50 津川修一 (Toulouse School of Economics)

Optimal Taxation with Public Good Provision for Reduction of Envy

10:50--11:40 佐橋義直 (大阪府立大学)

A Random Matching Model with Preferences Dependent on the Time Intervals between Trades

セッション 1-b:

10:00--10:50 中村祐太 (慶應義塾大学大学院経済学研究科)

Mechanism Design with a Guess of Social Surplus

10:50--11:40 平井俊行 (富山大学経済学部)

On Stable Outcomes of the Multilateral Matching

昼休み 11:40--13:00

セッション 2-a:

13:00--13:50 定兼仁 (京都大学経済研究所)

Communication Enhancement through Information Acquisition by Uninformed Player

13:50--14:40 内田誠吾 (東京理科大学)

Equilibrium Selection from among Neutrally Stable Strategies for an Evolutionary Language Game under Selection-Mutation Dynamics

セッション 2-b:

13:00--13:50 塩澤康平 (神戸大学経済経営研究所、日本学術振興会特別研究員 PD)

Strategy-Proofness and Efficiency of Probabilistic Mechanisms for Excludable Public Good

13:50--14:40 数村友也 (東京大学大学院経済学研究科)

Strategy-Proof Multi-Object Auction Design: Ex-Post Revenue Maximization with No Wastage

セッション 3-a:

15:00--15:50 岡本実哲 (慶應義塾大学大学院経済学研究科)

The Measurement of Population Ageing

15:50--16:40 砂田啓太 (慶應義塾大学大学院経済学研究科)

On a Characterization of the Esteban-Ray Polarization Measures

セッション 3-b:

15:00--15:50 河田陽向 (慶應義塾大学大学院経済学研究科)

Consistent Representation and Electoral Systems

15:50--16:40 渡邊直樹 (慶應義塾大学大学院経営管理研究科)

Meaningful Learning in Weighted Voting Games: An Experiment

招待講演: 17:00--18:00 司会 : 宮城島要 (青山学院大学)

中島大輔 (小樽商科大学)

Limited Willpower and Compromise Effect

懇親会: 18:30--20:30

プログラム委員：梶井 厚志（京都大学）、川上 圭（青山学院大学）、関口 格（京都大学）、水上 英貴（青山学院大学・オーガナイザー）、宮城島 要（青山学院大学・オーガナイザー）、若山 琢磨（龍谷大学）

（3）マクロ経済分析事業（2017年度 TCER マクロコンファレンス）報告

第19回 TCER マクロコンファレンスは2017年11月11日、12日に、東京大学本郷キャンパスにおいて開催され、約70名の内外の研究者が参加しました。例年通り論文は国際公募を行い、プログラム委員会により選ばれた8本の論文報告がありました。また、今回は二日間とも英語での開催となり、非常に活発な議論が繰り広げられました。プログラムは以下の通りです。

2017年11月11日

13:20 Registration

13:45 Opening address Tsutomu Watanabe (University of Tokyo)

Session 1: Monetary Policy and Inequality

Chair: Tsutomu Watanabe (University of Tokyo)

13:50-15:00 Nao Sudo (Bank of Japan)

“The Effects of Monetary Policy Shocks on Inequality in Japan”

(with Masayuki Inui and Tomoaki Yamada)

Discussant: Munechika Katayama (Waseda University)

Session 2: Macroeconomics and Finance

Chair: Masaya Sakuragawa (Keio University)

15:30-16:40 Sushant Acharya (Federal Reserve Bank of New York)

“The Side Effects of Safe Asset Creation” (with Keshav Dogra)

Discussant: Tomoyuki Nakajima (University of Tokyo)

16:40-17:50 Hibiki Ichiue (Bank of Japan)

“Changes in the Global Investor Base and the Stability of Portfolio Flows to Emerging Markets”

(with Luis Brandao-Marques, Gaston Gelos and Hiroko Oura)

Discussant: Toyochiro Shirota (Hokkaido University)

18:20- Discussion and Dinner

(Introduction by Masaya Sakuragawa (Keio University))

2017年11月12日

Session 3: Macroeconomics and Resource Allocation

Chair: Takayuki Tsuruga (Osaka University)

9:40-10:50 Kozo Ueda (Waseda University)

“Reallocation Effects of Monetary Policy” (with Koki Oikawa)

Discussant: Yuichi Furukawa (Chukyo University)

10:50-12:00 Hitoshi Tsujiyama (Goethe University Frankfurt)

“Frictional Labor Markets, Education Choices and Wage Inequality”

(with Manuel Macera)

Discussant: Naoki Takayama (Cabinet Office)

12:00-13:10 Lunch and Discussion

Session 4: Bubbles

Chair: Noriyuki Yanagawa (University of Tokyo)

13:10-14:20 Toan Phan (Federal Reserve Bank of Richmond)

“Asset Bubbles and Global Imbalances” (with Daisuke Ikeda)

Discussant: Takashi Kamihigashi (Kobe University)

Session 5: Fiscal Policy

Chair: Naohito Abe (Hitotsubashi University)

14:50-16:00 Takayuki Tsuruga (Osaka University)

“Decomposing Local Fiscal Multipliers: Evidence from Japan”

(with Taisuke Kameda and Ryoichi Namba)

Discussant: Yasushi Iwamoto (University of Tokyo)

16:00-17:10 Wataru Miyamoto (Bank of Canada)

“The Effects of Government Spending on Real Exchange Rates: Evidence from Military Spending Panel Data”

(with Thuy Lan Nguyen and Viacheslav Sheremirov)

Discussant: Takashi Kano (Hitotsubashi University)

17:10 Closing Remarks Naohito Abe (Hitotsubashi University)

Adjourn

代表：阿部修人(一橋大学)、小野善康(大阪大学)、櫻川昌哉(慶応義塾大学)、渡辺努(東京大学)

プログラム委員：青木浩介(東京大学)、塩路悦朗(一橋大学)、藤原一平(慶応義塾大学)、堀井亮(大阪大学)

(4) 若手研究者育成支援事業 (産業組織論ジュニア・ワークショップ) 報告

東京経済研究センター (TCER) は、東京大学日本経済研究センター (CIRJE) と共催で、「産業組織論ジュニア・ワークショップ (Junior Industrial Organization Workshop)」を2018年3月10日(土)に、東京大学小島ホールにて開催しました。公募の結果、大学院生や博士号を取りたての若手研究者から多数の応募があり、9名の発表者を選抜し、それぞれの発表者に対して、討論者を大学教員からお願いしました。英語の発表を主としましたが、日本語での発表も一部でありました。プログラムは、以下の通り、幅広い大学からの発表者と討論者から構成され、40名近い参加者を得て、盛況なワークショップとなりました。

Plenary Chair: Hiroshi Ohashi (U Tokyo)

NARITA, Yusuke (Yale U) “Toward an Ethical Experiment”

Session 1 Chair: Naoki Wakamori (U Tokyo)

YAMAGUCHI, Akira (Hitotsubashi U) “Ability of Decision Maker and Investment in Software”

Discussant: Naoaki Minamihashi (Sophia University)

ISHIHARA, Takunori (Kyoto U) 「電力料金プラン選択のフィールド実験」

Discussant: Daiya Isogawa (U Tokyo)

Session 2 Chair: Toshihiro Matsumura (U Tokyo)

YOSHIDA, Shohei (Osaka U) “Welfare-Reducing Entry in a Differentiated Cournot Oligopoly without Costs”

Discussant: Susumu Cato (U Tokyo)

MATSUMURA, Yuri (U Tokyo) “Information Advantage, Relationship Advantage and Competition in Banking”

Discussant: Noriaki Matsushima (Osaka U)

HIGASHI, Kazuyuki (U Tokyo) “High-Frequency Trading Arms Race under National Market System: Welfare Analysis under CLOB and FBA”

Discussant: Daisuke Hirata (Hitotsubashi U)

Session 3 Chair: Dan Sasaki (U Tokyo)

MARTIN-RODORIGUEZ, Maria (Nagoya U) “Do You Want to Steal My Songs? The Importance of Diffusion in the Music Industry”

Discussant: Daniel Marszalec (U Tokyo)

YAMAMOTO, Ryohei (Kobe U) “Merger Forms and Welfare: Evidence from the U.S. Airline Industry”

Discussant: Taiju Kitano (Aoyama Gakuin)

KANAZAWA, Kyogo (U Tokyo) “Crowding-out Effects of Public Libraries and the Public Lending Right”

Discussant: Naoki Wakamori (U Tokyo)

(5) 若手研究者育成支援事業 (第2回 金融ジュニア・ワークショップ) 報告

東京経済研究センター (TCER) は、東京大学金融教育研究センター (CARF) と共催で「第2回金融ジュニア・ワークショップ」を2018年3月9日(金)、東京大学小島ホールで開催しました。本ジュニア・ワークショップは、大学院生および若手教員・研究員(大学院修了から3年以内)に現在行っている研究内容を報告してもらい、それに「金融」を専門とするシニアの教員がコメントを行う形式のワークショップです。若手研究者のなかには、潜在的には重要な着想を持ちながらも、国際学術誌に刊行可能な形で研究論文としてまとめ上げるのに苦勞する人は少なくないと思います。そのような若手研究者にシニアの研究者が建設的なコメントやアドバイスをすることを通じて、日本の金融研究の将来を担う若手研究者を育成することを目的に第2回ワークショップを実施しました。プログラムは以下の通りです。

セッション1: 10:30-12:30

座長: 中嶋智之、植田健一

久田貴紀 (大阪大学)

The Effect of Investor Sentiment toward an Exchange Merger on Liquidity

大石凌平 (一橋大学)

Testing linear factor pricing models with individual securities in Japan: Application of shrinkage

estimation

笠原晃恭（早稲田大学高等研究所）

Empirical Analysis of Corporate Tax Reforms: What is the Null and Where Did It Come From?

12:40-13:30 ランチ

セッション2：13:40-15:40

座長：宮尾龍蔵、福田慎一

前田大輝（大阪大学）

Monetary and Fiscal Policy in a Cash-in-advance Economy with Quasi-geometric Discounting

二羽秀和（一橋大学）

A signaling effect of qualitative easing without fiscal support

服部孝洋（財務省財務総合政策研究所）

Flight to “Futures” during the financial crisis: Deliverability through central counterparties

コーヒー・ブレイク

セッション3：15:50-17:50 English session

座長：青木浩介、楡井誠

青柳潤（カリフォルニア大学バークレー校）

Intertemporal Information Loss and Asset Price Cycles

湯浅史朗（一橋大学）

Financial Shock and Burst of Rational Bubble

木村遥介（財務省財務総合政策研究所）

Corporate Risk-Taking, Shareholder Diversification

18:15ー 懇談会

（6）TCER 定例研究会（2017 年度 TCER 研究会）報告

2017 年度の TCER 研究会は東京大学にて行われ、今年度後半の開催は以下の通りでした。なお、TCER 定例研究会にはフェローの方はいつでも参加できます。

第1回 8月21日（月）11:30～13:00

共催：ミクロ実証分析ワークショップ

Andrew H. McCallum (Federal Reserve Board)

The Structure of Export Entry Costs

第2回 8月28日(月) 12:10~13:10

Matthieu Bouvard (McGill University)

The Blockchain Folk Theorem

第3回 9月7日(木) 16:50~18:35

Shang-Jin Wei (Columbia University)

On the Divergence of PPI and CPI: A Perspective from Global Value Chains

第4回 9月19日(火) 16:50~18:35

栗屋祐 (University of Rochester)

Communication and Cooperation in Repeated Games

第5回 9月25日(月) 8:30~12:10

GRIPS-UTokyo workshop

Empirical Studies on Innovation and Entrepreneurship

第6回 9月26日(火) 16:50~18:35

Wing Suen (University of Hong Kong)

The Comparative Statics of Optimal Hierarchies

第7回 9月27日(水) 12:10~13:10

主催:マクロファイナンス・金融&国際金融ワークショップ

阿曾沼多聞 (International Monetary Fund)

Sovereign Bond Prices, Haircuts and Maturity

第8回 9月28日(木) 16:50~18:35

Fernando Broner (Universitat Pompeu Fabra)

Fiscal Multipliers and the Home Bias of Public Debt (joint with Daragh Clancy, Aitor Erce and Alberto Martin)

第9回 10月3日(火) 16:50~18:35

Wing Suen (University of Hong Kong)

The Comparative Statics of Optimal Hierarchies

第10回 10月3日(火) 17:10~19:00

主催:金融センター特別セミナー

Andrew Levin (Dartmouth College)

"Central Bank Digital Currency and the Future of Monetary Policy"

第11回 10月5日(木) 16:50~18:35

仲田泰祐 (Federal Reserve Board)

Policy Delegation and Liquidity Traps

第12回 10月10日(火) 12:10~13:10

John Stachurski (Australian National University)

Solving Recursive Utility Models with Stationary or Non-Stationary Consumption

第13回 10月10日(火) 16:50~18:35

Seung-Gyu Sim (東京大学)

On-the-job Training and On-the-job Search: Wage-Training-Promotion in a Frictional Labor Market

第14回 10月12日(木) 16:50~18:35

岡崎哲二 (東京大学)

Market Access, Technology and Plant Life Cycle: A Natural Experiment from Opening of Japan in 1859 (joint with Tomohiro Machikita)

第15回 10月17日(火) 16:50~18:35

田中万理 (一橋大学)

Do Middle and Vocational Schools Foster Meritocracy?

第16回 10月19日(木) 16:50~18:35

須藤直 (日本銀行)

Effects of Monetary Policy Shocks on Inequality in Japan

第17回 10月24日(火) 16:50~18:35

関麻衣 (JICA Research Institute)

Individualized Self-learning Program to Improve Primary Education: Evidence from a Randomized Field Experiment in Bangladesh

第18回 10月26日(木) 16:50~18:35

Parantap Basu (Durham University)

Redistributive Innovation Policy, Inequality and Growth (joint with Yoseph Getachew)

第19回 10月30日(月) 10:30~12:00

Robert C Merton (The School of Management Distinguished Professor of Finance at the MIT Sloan School of Management and University Professor Emeritus at Harvard University)

Finance Science and Financial Innovation: History and Future

第20回 10月31日(火) 16:50~18:35

Sangyoon Park (The University of Hong Kong)

When Peers Count: Evidence from Randomized Peer Assignments in the Workplace

第21回 11月1日(水) 12:10~13:10

Pablo Guerron-Quintana (Boston College)

Political Distribution Risk and Aggregate Fluctuations (joint with Thorsten Drautzburg and Jesus Fernandez-Villaverde)

第 22 回 11 月 2 日 (木) 16:50~18:35

小枝淳子 (早稲田大学)

Model-Based Estimation of Sovereign Default Risk

第 23 回 11 月 7 日 (火) 16:50~18:35

河村耕平 (早稲田大学)

A Simple Theory of Media (joint with Mark Le Quement)

第 24 回 11 月 9 日 (木) 16:50~18:35

Toan Phan (Federal Reserve Bank of Richmond)

Self-enforcing Debt Limits and Costly Default in General Equilibrium (joint with V. Filipe

Martins-da-Rocha, Toan Phan, and Yiannis Vailakis)

第 25 回 11 月 14 日 (火) 16:50~18:35

久保田荘 (東京大学)

Indeterminacy in Search Theory of Money: Bilateral vs. Multilateral Trades

第 26 回 11 月 20 日 (月) 16:50~18:35

Roger Nord (International Monetary Fund)

Regional Economic Outlook for Sub Sahara Africa: Fiscal Adjustment and Economic Diversification

第 27 回 11 月 21 日 (火) 16:50~18:35

Carlos Sanz (Banco de España)

Backing the Incumbent in Difficult Times: The Electoral Impact of Wildfires (joint with Roberto Ramos)

第 28 回 11 月 28 日 (火) 16:50~18:35

川上 圭 (青山学院大学)

Noisy Reallocation in Takeover Markets

第 29 回 11 月 30 日 (木) 16:50~18:35

Romain Rancière (University of Southern California)

Balance-Sheet Diversification in General Equilibrium: Identification and Network Effects (joint with Jonas Heipertz, Amine Ouazad, Natacha Valla)

第 30 回 12 月 5 日 (火) 16:50~18:35

Stacey H. Chen (National Graduate Institute for Policy Studies (GRIPS))

"Identifying Rurality and Its Impact on Student Learning Outcomes" (joint with Yu-Kuan Chen and Huey-Min Wu)

第 31 回 12 月 7 日 (木) 16:50~18:35

Pol Antràs (Harvard University)

On the Geography of Global Value Chains

第 32 回 12 月 12 日 (火) 16:50~18:35

陣内了 (一橋大学)

Recurrent Bubbles, Economic Fluctuations, and Growth (joint with Pablo Guerron-Quintana and Tomohiro Hirano)

第 33 回 12 月 14 日 (木) 16:50~18:35

上田晃三 (早稲田大学)

Estimating the Nonlinear New Keynesian Model with the Zero Lower Bound for Japan (joint with Hirokuni Iiboshi and Mototsugu Shintani)

第 34 回 12 月 19 日 (火) 16:50~18:35

伊神満 (Yale University)

Artificial Intelligence as Structural Estimation: Economic Interpretations of Deep Blue, Bonanza, and AlphaGo

第 35 回 12 月 20 日 (水) 14:55~16:40

主催: 政策評価研究教育センター (CREPE)

松山公紀 (Northwestern University)

Beyond CES; Three Alternative Classes of Flexible Homothetic Demand Systems (joint with Philip Ushchev)

第 36 回 12 月 21 日 (木) 14:55~16:40

主催: ミクロ実証分析ワークショップ

河合慶 (University of California, Berkeley)

Missing Bids and Scoring Auctions

第 37 回 12 月 21 日 (木) 16:50~18:35

主催: CARF セミナー

Similan Rujiwattanapong (Aarhus University)

Long-term Unemployment Dynamics and Unemployment Insurance Extensions

第 38 回 1 月 15 日 (月) 10:30~12:00

共催: ミクロ実証分析ワークショップ

Pieter A. Gautier (VU University Amsterdam)

Priority Rules in School Assignment (joint with Monique de Haan, Hessel Oosterbeek, Sándor Sóvágó and Bas van der Klaauw)

第 39 回 1 月 15 日 (月) 16:50~18:35

共催: ミクロ実証分析ワークショップ

Kailing Shen (The Australian National University)

Gender-Targeted Job Ads in the Recruitment Process: Evidence from China (joint with Peter Kuhn)

第40回 1月18日(木) 16:50~18:35

主催：マイクロ実証分析ワークショップ

渡辺安虎 (Amazon Japan GK/東京大学)

Voter Turnout and Preference Aggregation (joint with Kei Kawai and Yuta Toyama)

第41回 1月22日(月) 10:30~12:00

主催：CARF セミナー

Daisuke Fujii (University of California Los Angeles)

International Trade Dynamics with Sunk Costs and Productivity Shocks

第42回 1月23日(火) 16:50~18:35

浅野康司 (JSPS and 東京大学)

Trust and Law in Credit Markets

第43回 1月26日(金) 16:50~18:35

主催：マイクロ実証分析ワークショップ

中嶋亮 (慶応義塾大学)

Examining Patent Examiners: Present Bias, Procrastination and Time Pressure (joint with Michitaka Sasaki, and Ryuichi Tamura)

第44回 1月30日(火) 16:50~18:35

安東宇 (Columbia University)

Size-Dependent Policies and Efficient Firm Creation

第45回 1月31日(水) 10:30~12:00

Simon Anderson (University of Virginia/一橋大学)

Economic distributions and primitive distributions in Industrial Organization and International Trade

第46回 2月1日(木) 16:50~18:35

菊地朋生 (National University of Singapore)

"Volatile Capital Flows and Financial Integration: The Role of Moral Hazard" (joint with John Stachurski, and George Vachadze)

第47回 2月5日(月) 16:50~18:35

Kim Daisoon (University of Washington)

Economies of Scale and International Business Cycles

第48回 2月8日(木) 16:50~18:35

Yan Liang (London School of Economics)

The Impact of Financial Development on Outsourcing and Aggregate Productivity

編集後記

寒さも少し和らいでまいりましたが皆様いかがお過ごしでしょうか。2017年度2号目のニュースレターをお送りいたします。お忙しい中、執筆下さった理事やコンファレンス主催者の方々に感謝申し上げます。来年度もTCERをどうぞよろしく願います。

Newsletterに関するご意見やご感想は代表理事 福田慎一 sfukuda@e.u-tokyo.ac.jp
または総務理事 原 ひろみ harahiromi@fc.jwu.ac.jp までご連絡下さい。

=====

公益財団法人 東京経済研究センター
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 1-7-10 山京ビル本館 703 号室
Tel & Fax 03-3239-2524 Email: tcer@mbs.sphere.ne.jp